

i-CONNECT搭載 外付型 HDドライブ IEEE 1394インターフェイスセット

HDA/1394シリーズ

取扱説明書

株式
会社 **アイ・オー・データ機器**

94163-01

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
- 3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
- 4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
- 5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関する設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
- 9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
- 10) お客様は、本製品または、その使用权を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
- 11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
- 12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i-CONNECTおよびi-CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft, Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple, Macintosh, Power Macintosh, PowerBook, Mac, Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- iMac, FireWireは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- Intel, Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
- i.LINK, VAIOは、ソニー株式会社の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意表示



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例) 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例) 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例) 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

警告



厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



電源プラグ
を抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。

修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺のご使用は、特にご注意ください。



厳守

ACアダプタについては以下にご注意ください。

- 必ず添付のACアダプタを使用してください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源コードをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- 電源コードの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- 電源コードがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。

注意



注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（ Cl_2 、 H_2S 、 NH_3 、 SO_2 、 NO_x など）
- 静電気の影響の強い場所



禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



禁止

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意 味
HDA-iシリーズ	本製品のハードディスク
本製品	HDA/1394シリーズ、または「HDA-iシリーズとIEEE 1394コンバータ &ケーブルを接続したもの」
IEEE 1394	IEEE 1394, FireWire, i.LINKの総称 詳しくは、77ページをご覧ください。
Mac OS 8/9	Mac OS 8.6, 9, 9.0.4, 9.1の総称
Mac OS	Mac OS 8/9
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows Me/98 SE	Windows MeおよびWindows 98 SEの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows Me/98 SE、Windows 2000の総称

マークの説明



注意

本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。



参考

本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください.....	i
お読みになる前に.....	v
もくじ.....	vi

はじめに

..... 1

箱の中の確認	2
動作環境の確認	4
注意事項	5
各部の名前	7
添付品を取り付けよう	9
お使いのOSは?	12

Mac OS 8/9でお使いの場合

..... 13

一部のMacをお使いの方へ	14
使えるようにしよう	16
初期化しよう	21
確認しよう	22
基本操作について	23

Windows 2000でお使いの場合

..... 27

使えるようにしよう	28
フォーマットしよう	30
基本操作について	47

Windows Me/98でお使いの場合

..... 49

使えるようにしよう	52
フォーマットしよう	54
基本操作について	63

付録

..... **65**

困った時には	66
本製品を複数のOSで使う場合	73
サポートソフトの削除	75
IEEE 1394について	77
用語解説	81
ハードウェア仕様	82
サポートセンターへのお問い合わせ	83
サポートソフトのバージョンアップ	84
修理について	85

Memo

はじめに

箱の中の確認

..... 2

箱の中のものを確認します。



動作環境の確認

..... 4

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。



注意事項

..... 5

本製品を使うにあたって、注意しなければならないことを説明します。



各部の名前

..... 7

スイッチなどの名前と機能を説明します。



添付品を取り付けよう

..... 9

添付品を取り付ける方法を説明します。



お使いのOSは？

..... 12

お使いのOSに合ったページを案内します。

箱の中の確認

箱の中には以下のものが入っています。

☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



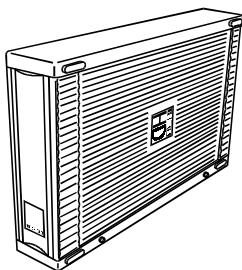
箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

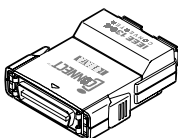
イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

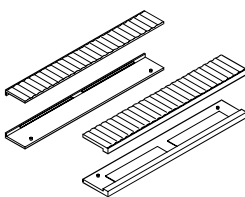
- ☐ ハードディスク(1台)
[HDA-iシリーズ]



- ☐ IEEE 1394コンバータ(1個)
[IEEE 1394ポート 6ピン×2]



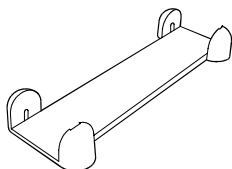
- ☐ カラーサイドパーツ(5色 各4個)



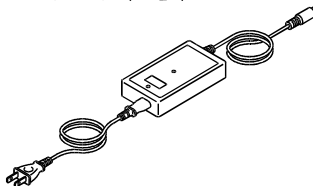
- ☐ IEEE 1394ケーブル
(2種類 各1本)



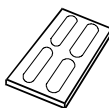
- ☐ スタンド(1個) [縦置き用]



- ☐ ACアダプタ(1個)



- ☐ ラバーフット(4個) [横置き用]



☐ HDA/1394シリーズサポートソフト(1枚) [CD-ROM]



- ・ 1394 CCサポートソフト
(IEEE 1394コンバータ用ドライバ)
- ・ ASPIFORM
(Windows Me/98用フォーマッタソフト)

☒ HDA/1394シリーズ取扱説明書(1冊) [本書]

☐ HDAシリーズのハードウェア仕様(1枚)

☐ ハードウェアシリアルNo. シール(1枚)

☐ ユーザー登録カード(1枚)



ユーザー登録は済ませましたか？

「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次のページに進みましょう！

☐ ハードウェア保証書(1枚)

☐ ビー・エイチ・エー社ユーザー登録ハガキ(1枚)



Mac OS 8/9をお使いの方は...

「ビー・エイチ・エー社ユーザー登録ハガキ」でユーザー登録してください。
登録方法は「ビー・エイチ・エー社ユーザー登録ハガキ」に記載されています。
登録してから次のページに進みましょう！

動作環境の確認

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

- ・ 本製品を接続できるIEEE 1394 (FireWire, i.LINK) ポートがあること。
※弊社製IEEE 1394インターフェイス (GV-DVC/PCI, GV-DVC2/PCI, GV-DVC/CB, GV-DVC2/CBを除く) を装着した機種でもご利用いただけます。
※弊社では、OHCI準拠のIEEE 1394インターフェイスで動作確認しています。
- ・ インストール時にCD-ROMドライブがあること。

対応機種	対応OS (日本語版のみ)
Apple iMac DV^{※1※2} PowerMac G4 Cube PowerMac G4^{※2} PowerMacintosh G3 (Blue & White) PowerBook G4 PowerBook G3 (FireWire)^{※2}	Mac OS 8.6 ^{※3} , 9 ^{※3} , 9.0.4 ^{※3} , 9.1 ^{※3}
NEC PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン^{※4※5}	Windows 2000 Windows Me Windows 98 SE

※1 DV取り込み・再生するために十分な転送速度が得られない場合があります。

※2 Mac OSのスリープ機能はお使いいただけません。

※3 FireWire 2.1以降に対応です。

アップデートについては、アップルコンピュータ株式会社のホームページ
(<http://www.apple.co.jp/>) をご覧ください。

※4 弊社では、OAGD加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※5 下記のSONY VAIOノートではお使いになれません。

- ・ ご購入時にWindows 98 (Second Edition除く) またはWindows 95がブリーインストールされていたモデル (OSをバージョンアップしても使えません)
- ・ PCG-F34/BP, PCG-Z505JL, PCG-Z505J/BP, PCG-Z505JX



FireWireのバージョン確認方法

- ① [ メニュー] → [コントロールパネル] → [機能拡張マネージャ] をクリックします。
- ② [FireWire Enabler] または [FireWire Support] のバージョンを確認します。 [J1-] や [J2-] の後の数字がバージョンです。

注意事項

【必ずお守りください】(iページ)も併せてご覧ください。

安全上の注意

●濡れた手で、本製品を取り扱わない

感電や、本製品の故障の原因となります。

●本製品に付いた汚れを落とす場合は…

柔らかい布で乾拭きしてください。

洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使ってください。

ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わないでください。

●本製品内部で結露させたまま使わない

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、本体内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。時間をおいて、結露がなくなってから使ってください。

●本製品内部に液体、金属などの異物を入れない

本製品の故障の原因となります。

●本製品のコネクタ部分に金属を差し込まない

感電や、本製品の故障の原因となります。

●動作中にケーブルを激しく動かさない

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

●定期的にバックアップする

記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障などによってファイルが破壊された場合、復旧することができません。

使用上の注意

●本製品にアクセス中は、省電力モードにしない

本製品にアクセスしている最中は、スタンバイ/休止/スリープなどの省電力モードにしないでください。

●本製品にソフトウェアをインストールしない

OS起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア（ワープロソフト、ゲームソフトなど）が正常に利用できない場合があります。

●他のIEEE 1394機器を使う場合は、下記に注意する

- ・動作に影響が出ることがある

Mac OSでは、他のIEEE 1394ドライバの削除が必要となる場合があります。

- ・本製品の後にIEEE 1394機器が接続されている場合は電源を切らない

本製品より後のIEEE 1394機器が認識されなくなります。

●長期間使わない場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜く

ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

●本製品からOSは起動できない

本製品からのOS起動はサポートされておりません。

●Mac OSとWindowsで併用はできない

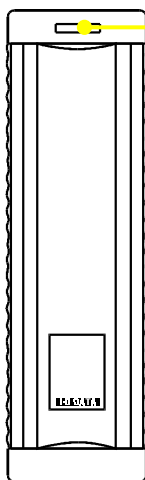
フォーマット形式の違いにより、併用することはできません。

各部の名前

スイッチなどの名前と機能を説明します。

HDA-iシリーズ

●前背面



—前面—

電源ランプ、アクセスランプ

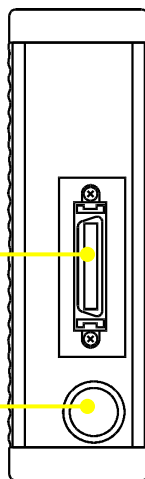
電源投入時に、緑色に点灯します。
アクセス中は、オレンジ色に点滅します。

i-CONNECT

i-CONNECT対応インターフェイスを接続します。

DC端子

ACアダプタを接続します。



—背面—

●上面（横置き使用時は側面）



電源スイッチ

前面へ動かすと、本製品の電源が入ります。

ON POWER OFF



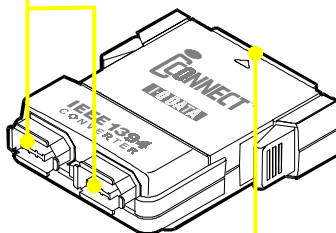
ON POWER OFF



IEEE 1394コンバータ

IEEE 1394ポート (6ピン)

IEEE 1394ケーブルを接続します。



i-CONNECT対応コネクタ

i-CONNECTと接続します。



IEEE 1394コンバータについて

添付のIEEE 1394コンバータは、本製品のハードディスク専用です。
他のi-CONNECT搭載ドライブに、IEEE 1394コンバータを接続しての使用は保証いたしかねます。

IEEE 1394ケーブル

IEEE 1394コネクタ (6ピン)

IEEE 1394コンバータ、IEEE 1394ポート (6ピン) やFireWireポートに接続します。



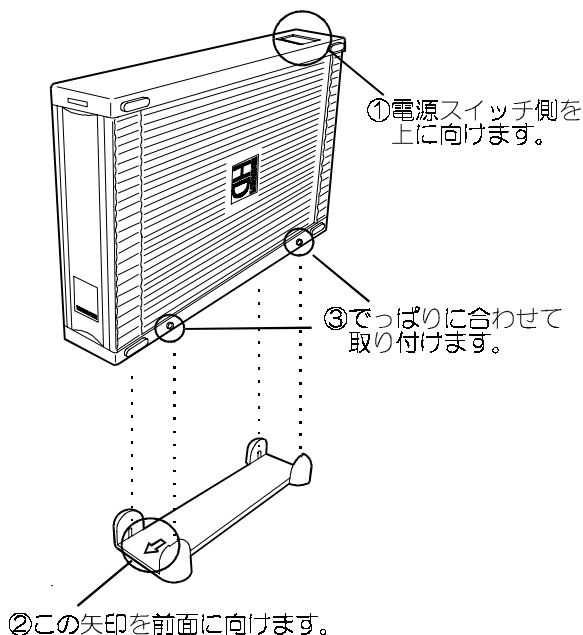
IEEE 1394コネクタ (4ピン)

i.LINKポートに接続します。

添付品を取り付けよう

添付品の取り付けについて説明します。

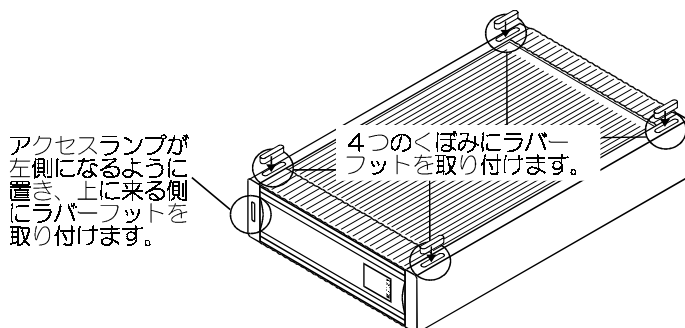
縦置きで使う ～スタンドの取り付け～



横置きで重ねず使う ～ラバーフットの取り付け～

本製品を安定した場所に置き、4個所にラバーフットを取り付けます。取り付け後は、ラバーフットを下にして置いてください。

※本製品を他のHDAシリーズやMOAシリーズの上に重ねて使用する場合は、ラバーフットは取り付けないでください。

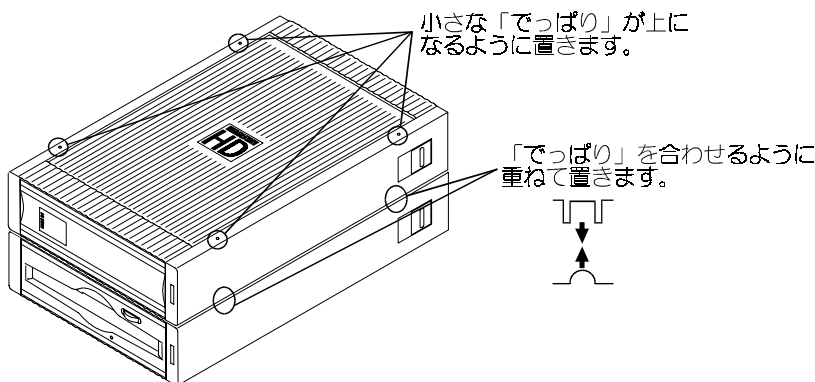


横置きで重ねて使う

MOAシリーズやHDAシリーズと重ねて置けます。（本製品を含めて2台まで）

下に置くものには上をご覧ください、ラバーフットを取り付けてください。

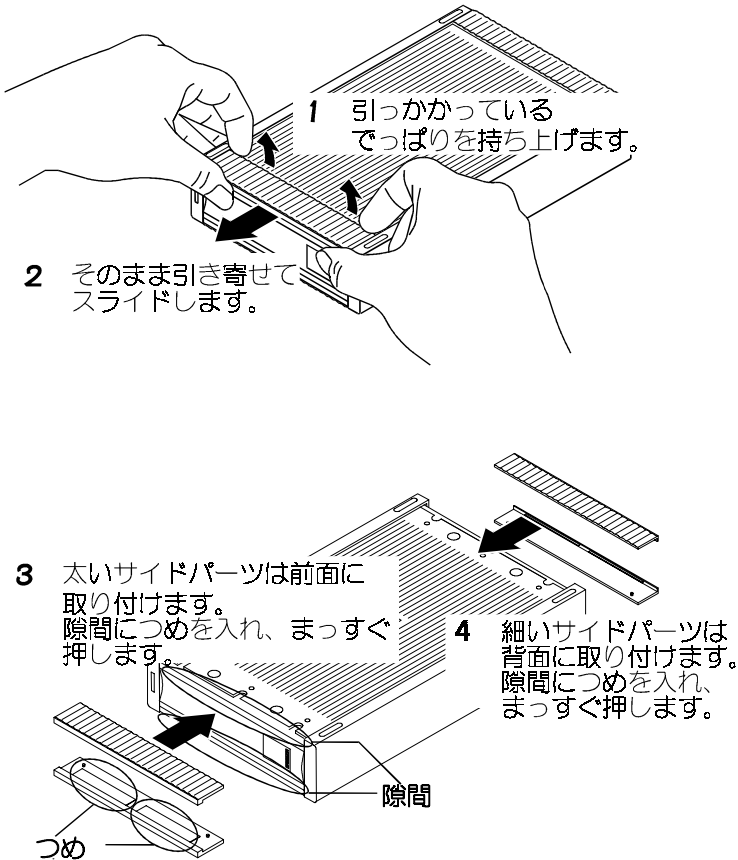
上に重ねるものは、そのまま図のように置いてください。



色を変える ～カラーサイドパーツの取り付け～

本製品には、コーディネートをお楽しみいただくために6色のカラーサイドパーツが添付されています。

お使いのパソコンの色に合わせて、下のように取り替えてみてはいかがでしょうか。



お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧ください、それぞれのページへお進みください。

お使いのOS	章
Mac OS 8/9	【Mac OS 8/9でお使いの場合】 13ページ
Windows 2000	【Windows 2000でお使いの場合】 27ページ
Windows Me/98	【Windows Me/98でお使いの場合】 49ページ

Mac OS 8/9でお使いの場合

一部のMacをお使いの方へ

.....14

iMac DVシリーズやPower Mac G4（AGPグラフィックス）をお使いの方に必要な設定と注意事項について説明します。



使えるようにしよう

.....16

本製品をできるようにします。



初期化しよう

.....21

本製品を初期化します。



確認しよう

.....22

本製品が使えるようになったか確認します。



基本操作について

.....23

本製品を使う上での操作について説明します。

一部のMacをお使いの方へ

iMac DVシリーズやPower Mac G4 (AGPグラフィックス) をお使いの方に必要な設定と注意事項について説明します。



対象以外の機種をお使いの方は

iMac DVシリーズやPower Mac G4 (AGPグラフィックス) 以外の機種をお使いの方は、【使えるようにしましょう】(16ページ)へお進みください。

設定理由

本製品の読み書き中にスリープすると、下のような現象が起こります。

- ・パソコンの電源ランプはグリーンに戻っているが、画面に何も映らない
- ・画面は映るが、パソコンが動かなくなる

設定

自動でスリープしないように設定します。

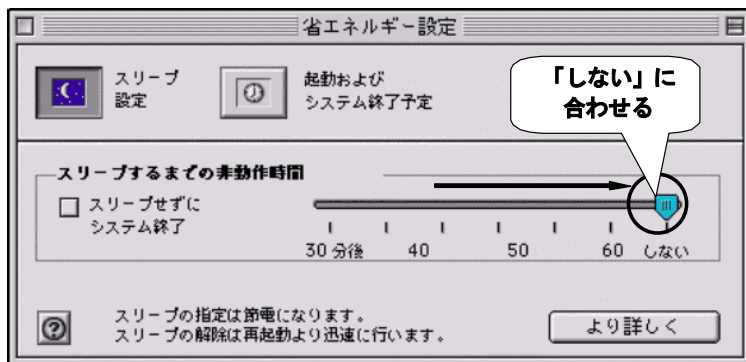
1 【省エネルギー設定】を開きます。

[アップルメニュー] → [コントロールパネル] → [省エネルギー設定]
をクリックします。

2 【スリープするまでの非動作時間】を【しない】にします。

スリープを設定するスライダーを【しない】にします。

⇒これで自動的にスリープすることはなくなります。



注意事項

下の内容にご注意ください。



手動で「スリープ」の手順を行わないでください

「Finder」メニューの「特別」→「スリープ」をしないでください。

スリープをしてしまった場合

正常にパソコンが動かなくなったら、パソコンをリセットしてください。
リセットの方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



リセットができない場合は...

パソコンの電源ボタンを5秒以上押し続けてみてください。
通常、パソコンの電源が切れます。

使えるようにしよう

はじめて本製品をIEEE 1394ポートに接続する際の手順について説明します。

IEEE 1394コンバータをできるようにする

IEEE 1394コンバータをできるようにします。



まだIEEE 1394コンバータを接続しないでください

IEEE 1394コンバータは本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。(次ページの手順5以降で接続します。)

1 Mac OS 8/9を起動します。

パソコンの電源を入れ、Mac OS 8/9を起動します。

2 「HDA/1394シリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDA/1394シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

⇒自動で「HDA/1394シリーズサポートソフト」の中が表示されます。



自動で開かなかった場合は...

デスクトップ上にあるCD-ROMのアイコン(HDA_1394_xxx : xxxには数字が入ります)をダブルクリックしてください。

3 [B'sCrew FW Installer] をダブルクリックします。

[1394CC] → [B'sCrew FW Installer] の順にダブルクリックします。

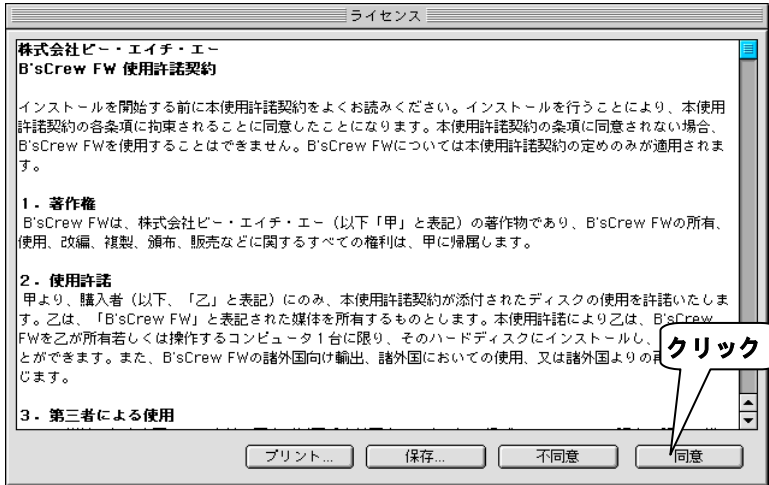
順にダブルクリック



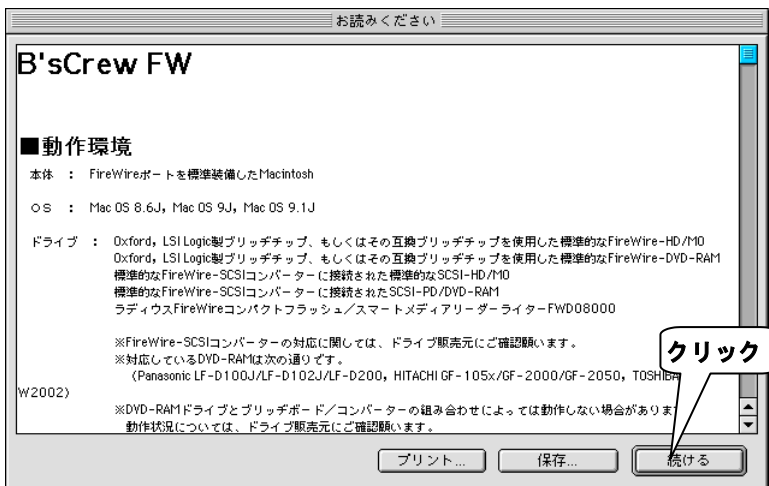
4 使用許諾契約を読み、同意するかどうかを決定します。

内容に同意するなら［同意します］ボタンをクリックします。

このインストールをするには、同意する必要があります。



5 [続ける] ボタンをクリックします。



6 「インストール」 ボタンをクリックします。



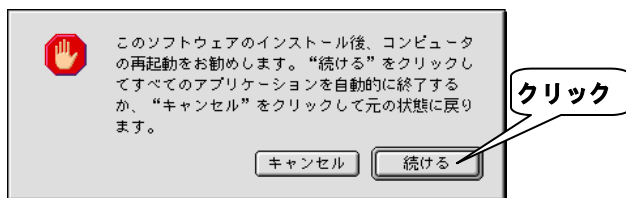
インストールの場所を変えたい場合は

「インストールの場所」を設定してください。

通常、変える必要はありません。

7 「続ける」 ボタンをクリックします。

⇒ 「B'sCrew FW」 がインストールされます。

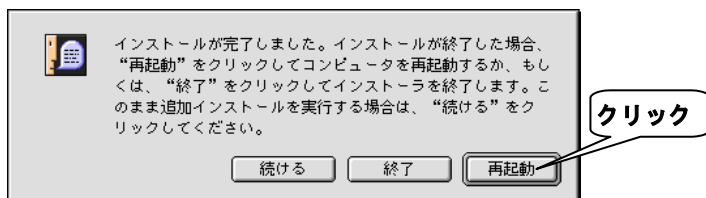


8 再起動します。

① 「HDA/1394シリーズサポートソフト」を取り出します。

② 「再起動」 ボタンをクリックします。

⇒ パソコンが再起動されます。

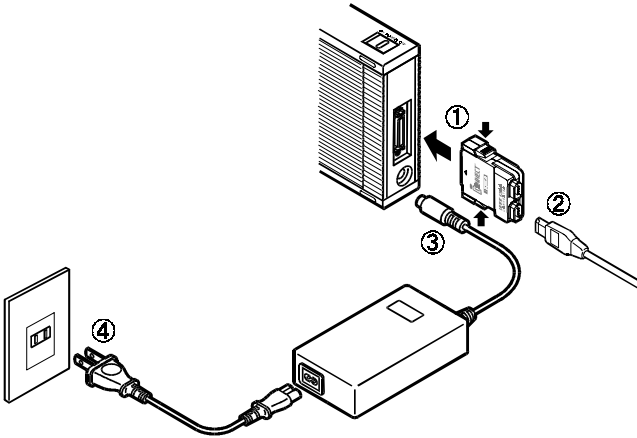


接続する

IEEE 1394ポートへの接続について説明します。

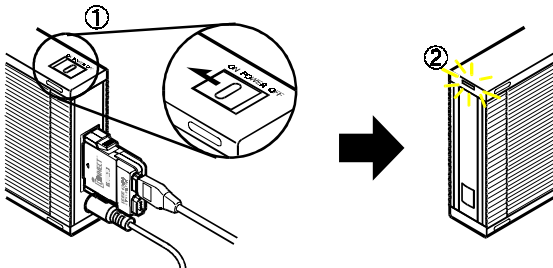
9 ハードディスクに接続します。

- ① IEEE 1394コンバータの両脇を押さえながら、ハードディスクにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
- ② IEEE 1394コンバータに、IEEE 1394ケーブルを接続します。
- ③ ハードディスクに、添付のACアダプタを接続します。
- ④ ACアダプタを電源コンセントに接続します。



10 本製品の電源を入れます。

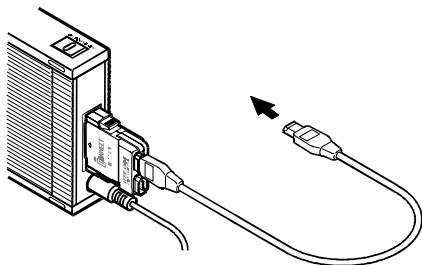
- ① 電源スイッチを「ON」側に入れます。
- ② 電源ランプが点灯するのを確認します。



// 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。

IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で、本製品は使えるようになりました。

次に、本製品を初期化しましょう。

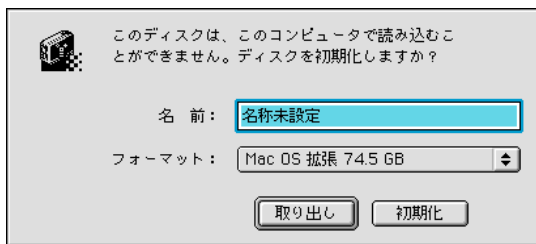
初期化しよう

本製品を初めて接続したときの初期化を説明します。

● 画面が表示されます。

- ① [名前] に本製品に付ける名前を入力します。
- ② [フォーマット] を選択します。
- ③ [初期化] ボタンをクリックします。

⇒本製品の初期化が始まります。



【フォーマット】の選択について

【Mac OS拡張】を選択することをおすすめします。

複数のパーティションを作りたい場合

もう一度、【本製品をもう一度初期化する】(24ページ)の方法で初期化してください。

80Gバイト以上の本製品をお使いの場合...

【MSDOS形式 (FAT)】は選ばないでください。

以上で、本製品は初期化されました。
次に、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品が使えるかどうかを確認します。

1 本製品のアイコンが表示されている事を確認します。

デスクトップ上にハードディスクのアイコンが表示されます。



確認



アイコンがない

【本製品をIEEE 1394ポートに接続しても認識しない】(67ページ)をご覧ください。

2 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

メニューの中の「Apple システム・プロフィール」をクリックします。

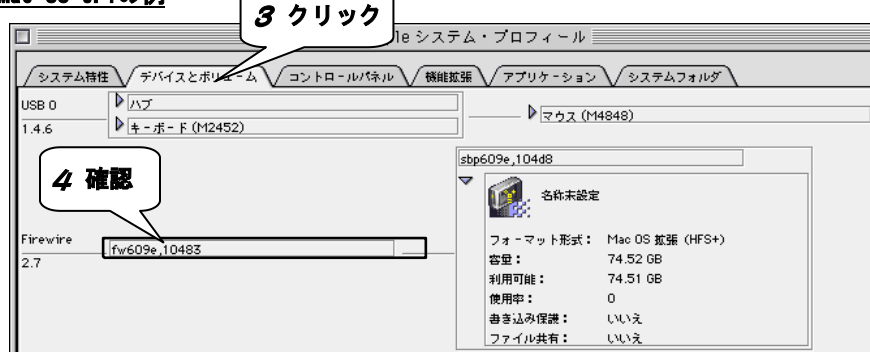
3 「デバイス(装置)とボリューム」タブをクリックします。

4 [fw609e, xxxxx]を確認します。

【FireWire】の中に [fw609e, xxxxx] があることを確認します。

※ xxxxxには数字が入ります。

Mac OS 9.1の例



【fw609e, xxxxx】がない

【接続する】(19ページ)をご覧ください、接続と電源を確認してください。

以上で、確認は終了です。本製品をお使いいただけます。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
本製品を取り外す	本ページ
本製品をもう一度初期化する	次ページ

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 本製品をFireWireポートに接続します。

本製品を取り外す

操作	
●パソコンの電源を切って取り外す	本ページ
●パソコンの電源を切らずに取り外す	次ページ

●パソコンの電源を切って取り外す

- 1 Mac OSを終了し、パソコンの電源を切ります。
- 2 本製品をFireWireポートから取り外します。
- 3 本製品の電源を切ります。

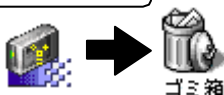
●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 本製品内のボリュームをゴミ箱に捨てます。

ボリュームをゴミ箱の上に持っていき、放します。

⇒本製品内にある全てのボリュームの表示が消えます。

ボリュームを捨てる



2 本製品をFireWireポートから取り外します。

3 本製品の電源を切ります。

本製品をもう一度初期化する



本製品内に必要なデータがある場合は…

初期化を行うと、本製品内のデータはすべて消去されます。

別のハードディスク等にバックアップを行ってから、初期化してください。



「B'sCrew FW」について詳しくは

「HDA/1394シリーズサポートソフト」の [139400] → [ユーザーズマニュアル] → [B'sCrew FW User's Manual.pdf] をご覧ください。

※表示できない場合は、「Adobe Acrobat Reader」を入れてください。

1 本製品以外の全てのFireWire機器を取り外します。

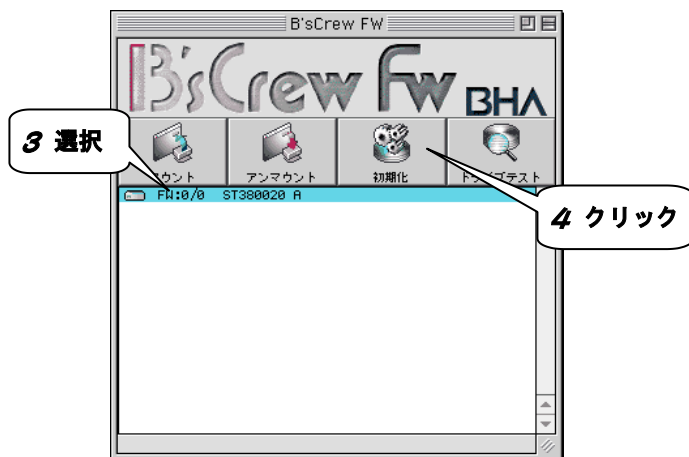
2 「B'sCrew FW」を起動します。

メニューの中の [B'sCrew FW] をクリックします。

3 ドライブを選択します。

ドライブが1つだけ表示されているので、それを選択します。

4 [初期化] ボタンをクリックします。



5 [イニシャライズ] の設定をします。

[パーティション数] と [パーティションタイプ] を決めます。



参考

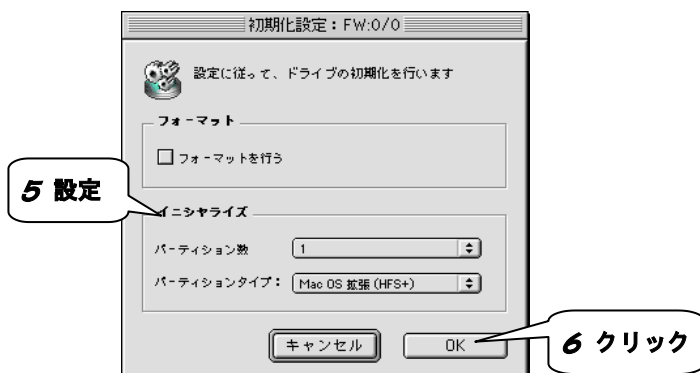
【パーティションタイプ】の選択について

[Mac OS拡張] を選択することをおすすめします。

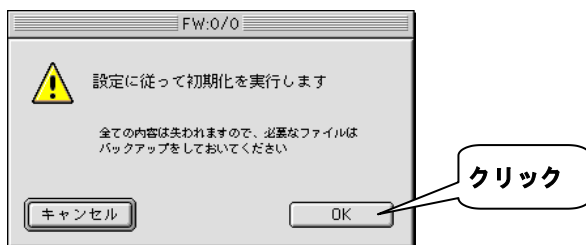
80Gバイト以上の本製品をお使いの場合...

[MSDOS形式 (FAT)] は選ばないでください。

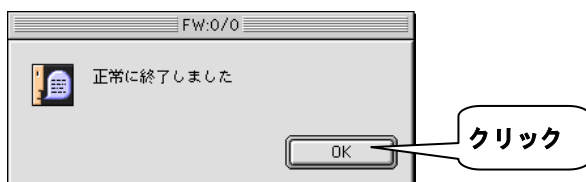
6 [OK] ボタンをクリックします。



7 [OK] ボタンをクリックします。



8 [OK] ボタンをクリックします。



Windows 2000でお使いの場合

使えるようにしましょう

..... 28

本製品を使えるようにします。



フォーマットしよう

..... 30

本製品をフォーマットします。



確認しよう

..... 44

本製品が使えるようになったか確認します。



基本操作について

..... 47

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品をIEEE 1394ポートに接続する際の手順について説明します。

1 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

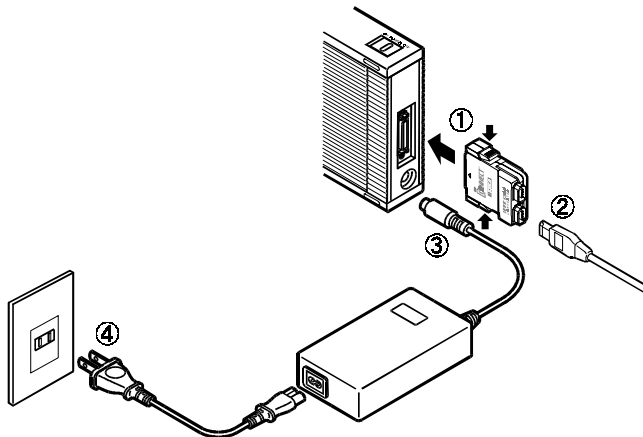
パソコンの電源を入れて、Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

接続する

IEEE 1394ポートへの接続について説明します。

2 ハードディスクに接続します。

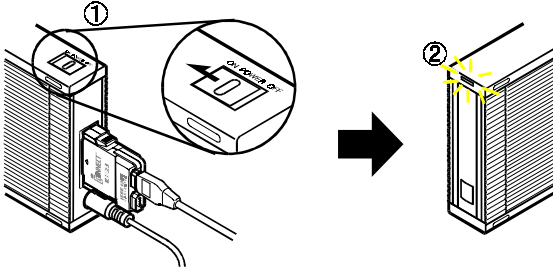
- ① IEEE 1394コンバータの両脇を押さえながら、ハードディスクにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
- ② IEEE 1394コンバータに、IEEE 1394ケーブルを接続します。
- ③ ハードディスクに、添付のACアダプタを接続します。
- ④ ACアダプタを電源コンセントに接続します。



3 本製品の電源を入れます。

電源スイッチ (7ページ) を「ON」にします。

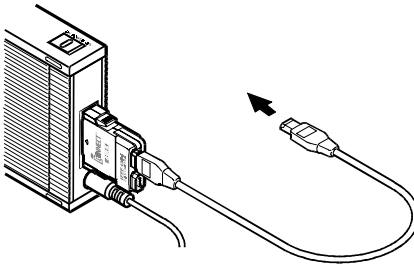
⇒電源ランプ (7ページ) が緑色に点灯します。



4 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。

IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で本製品は使えるように設定されました。

次は、ハードディスクをフォーマットしましょう。

フォーマットしよう

ここでは、Windows 2000でフォーマットする手順について説明します。



フォーマットすると、データはすべて消去されます

ハードディスクに必要なデータがある場合は、別のハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。



本手順をする際は、Administrator権限でログインしてください

Windows 2000でハードディスクをフォーマットする場合は、Administrator権限でログインする必要があります。

Windows 2000とWindows Me/98とで併用する場合は・・・

Windows Me/98で本製品のフォーマットを行ってください。

Windows 2000でフォーマットするとWindows Me/98で認識されない場合があります。詳細は、【本製品を複数のOSで使う場合】(73ページ)を参照してください。

本製品は「ダイナミックディスク」として使えません

IEEE 1394コンバータに接続したハードディスクで、ディスクのアップグレードはできません。

ダイナミックディスクについての詳細は、Windows 2000の取扱説明書かオンラインヘルプをご覧ください。

ディスクの署名

まず、ディスクに署名を行います。

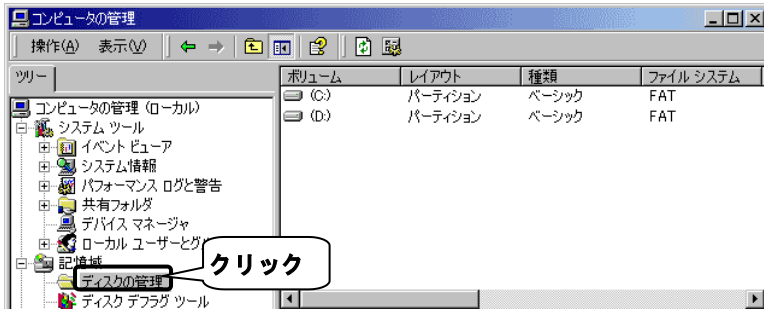
1 「コンピュータの管理」を起動します。

「マイコンピュータ」を右クリックし、メニュー内の「管理」をクリックします。

2 「ディスクの管理」をクリックします。

「記憶域」→「ディスクの管理」をクリックします。

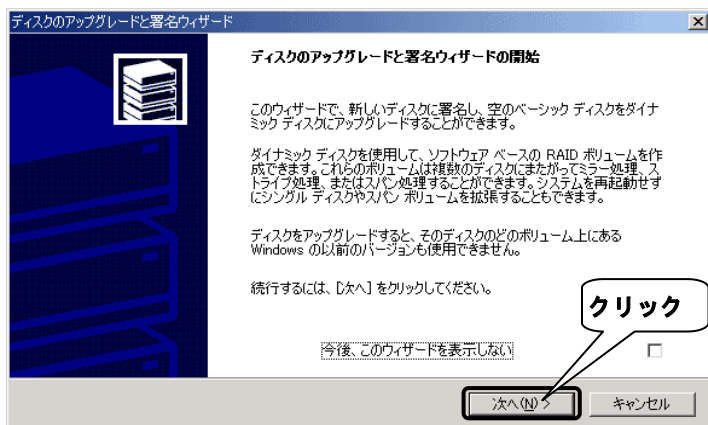
⇒「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。



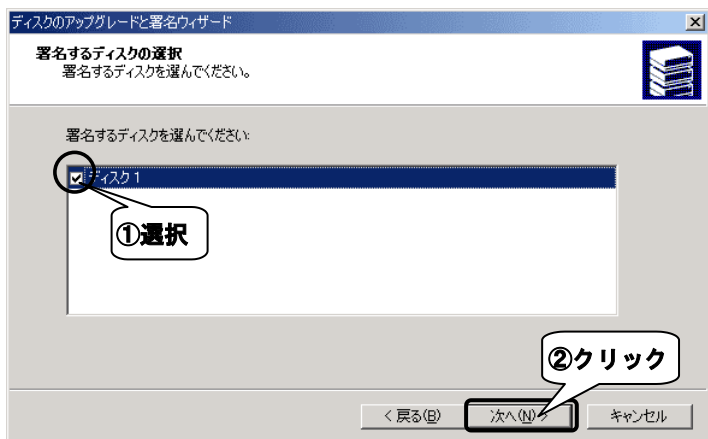
「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されない

- ①本製品が正しく接続されていません。
【接続する】(28ページ)をもう一度ご覧ください。
- ②表示されない設定になっています。
本製品のアイコンを右クリックし、表示された「署名」をクリックしてください。
- ③本製品は署名されています。
【パーティションの作成とフォーマット】(34ページ)へお進みください。

3 [次へ] ボタンをクリックします。



4 署名するディスクを選び、[次へ] ボタンをクリックします。



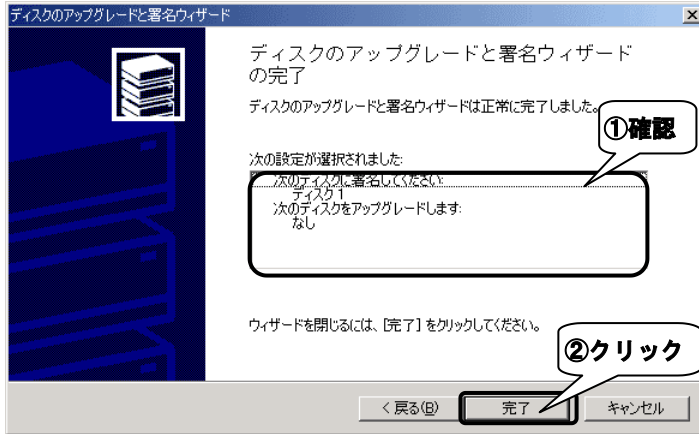
必ず署名をしてください

署名をしないと、本製品は使えません。

5 設定を確認して、[完了] ボタンをクリックします。

選択した設定が正しいことを確認して [完了] ボタンをクリックします。

⇒署名が行われます。



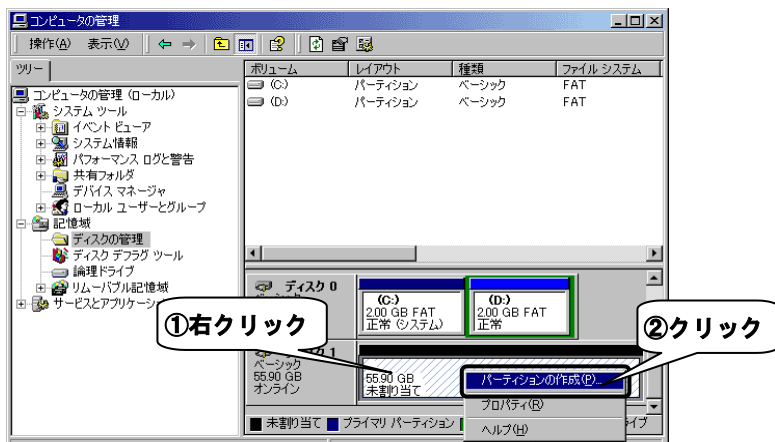
次ページの【パーティションの作成とフォーマット】にお進みください。

パーティションの作成とフォーマット

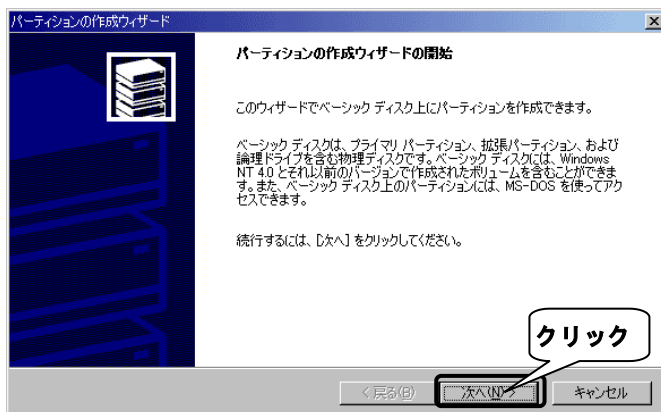
1 「パーティションの作成ウィザード」を起動します。

フォーマットしたいハードディスクの未割り当ての領域を右クリックし、表示された[パーティションの作成]をクリックします。

⇒「パーティションの作成ウィザード」が起動します。



2 [次へ] ボタンをクリックします。

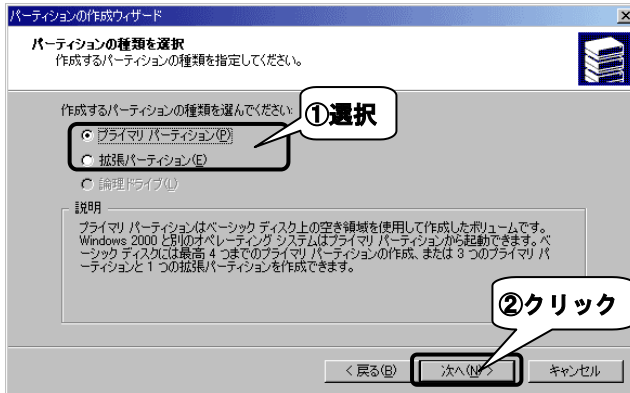


3 作成する種類を選び、[次へ] ボタンをクリックします。

作成するパーティションの種類を選びます。

パーティションについては画面内に表示されている説明をご覧ください。

その後、[次へ] ボタンをクリックします。



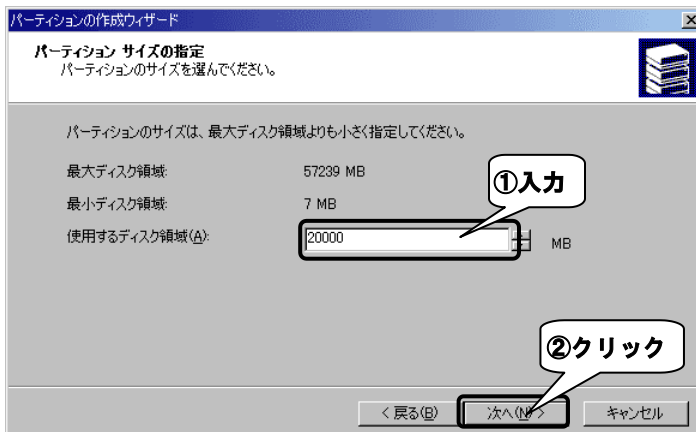
どちらを選択したらよいか分からない場合は...

[プライマリパーティション] を選んでください。

4 使用する容量を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

この後、プライマリパーティションを作成した場合は手順5へ、

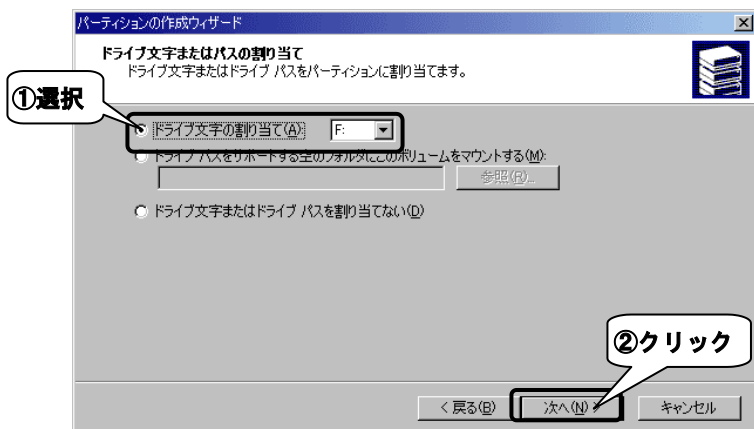
拡張パーティションを作成した場合は手順9へ進みます。



5 ドライブ文字を選び、[次へ] ボタンをクリックします。

[ドライブ文字の割り当て] を選択します。

その後、[次へ] ボタンをクリックします。



ドライブ文字について

[ドライブ文字の割り当て] の右にあるアルファベットが、作成するパーティションのドライブ文字になります。通常、変更する必要はありません。

他の選択について

[ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする] を選択することもできます。詳細は、Windows 2000の取扱説明書がオンラインヘルプをご覧ください。

6 フォーマットするように指定します。

[このパーティションを以下の設定でフォーマットする] を選択します。

7 ファイルシステムの設定を行います。

フォーマットの中の「使用するファイルシステム」項目を設定します。

項目の詳細については、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。

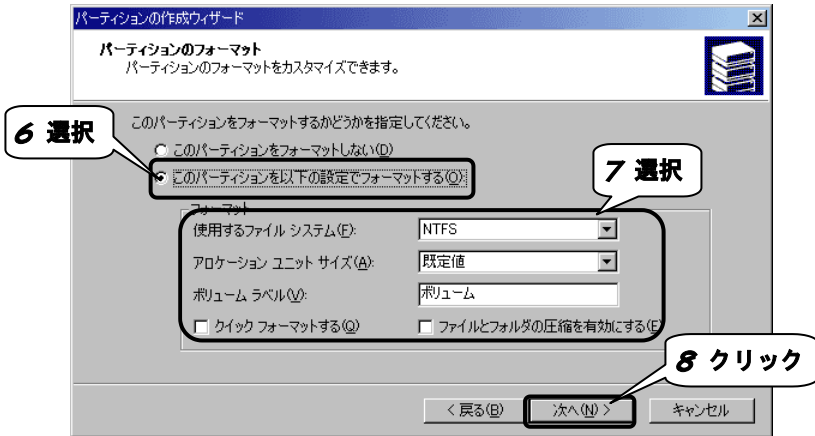


ファイルシステムについて

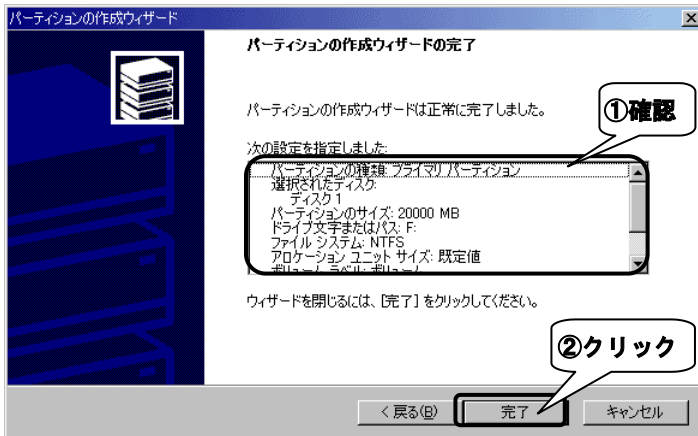
ファイルシステムがよく分からない場合は、[NTFS] に設定してください。また、設定するファイルシステムの制限にご注意ください。

詳しくは、【本製品を複数のOSで使う場合】(73ページ)をご覧ください。

8 [次へ] ボタンをクリックします。



9 設定を確認して、[完了] ボタンをクリックします。

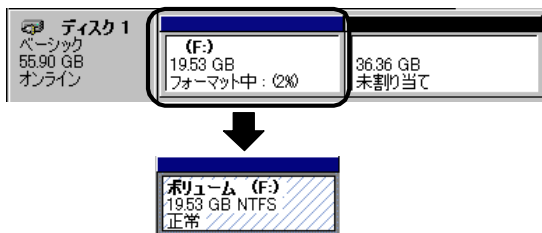


●プライマリパーティションを作成した場合

プライマリパーティションのフォーマットを開始します。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。

フォーマットが終わると、「マイコンピュータ」に本製品のアイコンが表示されます。



「未割り当て」の領域があまっている場合は…

本作業手順をもう一度行ってください。

作成したパーティションの次回からのフォーマットについて

本製品のアイコンを右クリックし、表示された「フォーマット」をクリックします。

●拡張パーティションを作成した場合

拡張パーティションは、その中に「論理ドライブ」を作る必要があります。

次ページの【論理ドライブの作成】をご覧ください。

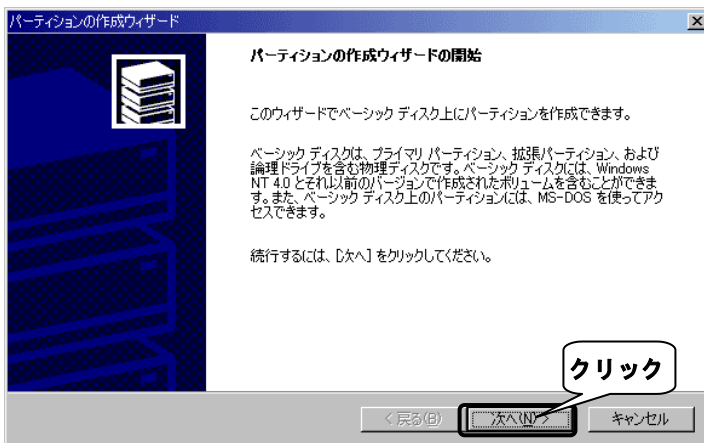
論理ドライブの作成

1 「空き領域」に論理ドライブを作成します。

論理ドライブを作成する拡張領域の「空き領域」を右クリックし、表示された「論理ドライブの作成」をクリックします。

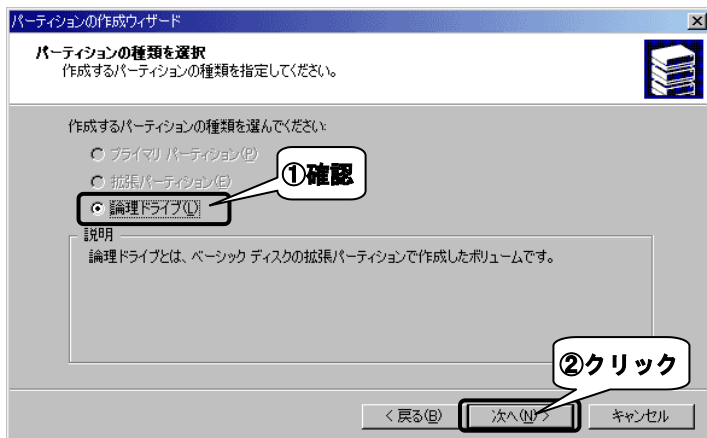


2 [次へ] ボタンをクリックします。

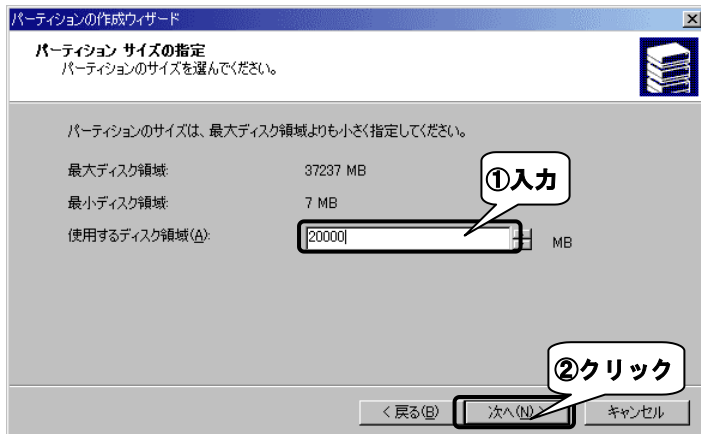


3 [次へ] ボタンをクリックします。

このとき、「論理ドライブ」が選択されていることを確認してください。

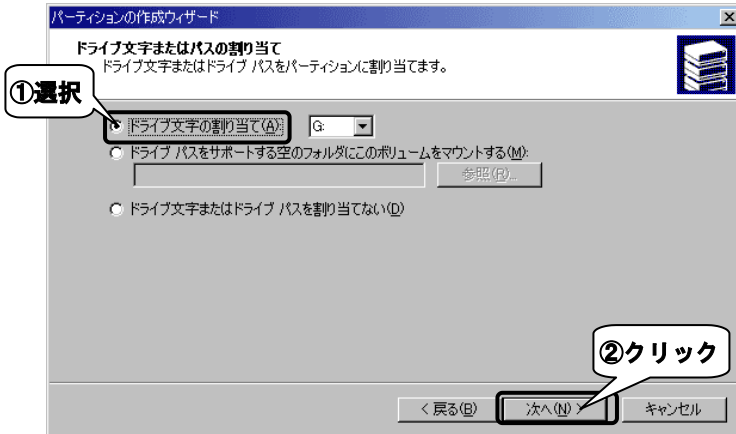


4 使用する容量を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



5 ドライブ文字を選び、[次へ] ボタンをクリックします。

〔ドライブ文字の割り当て〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックします。



ドライブ文字について

〔ドライブ文字の割り当て〕の右にあるアルファベットが、作成するパーティションのドライブ文字になります。通常、変更する必要はありません。

他の選択について

〔ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする〕を選択することもできます。詳細は、Windows 2000の取扱説明書がオンラインヘルプをご覧ください。

6 フォーマットするように指定します。

「このパーティションを以下の設定でフォーマットする」を選択します。

7 ファイルシステムの設定を行います。

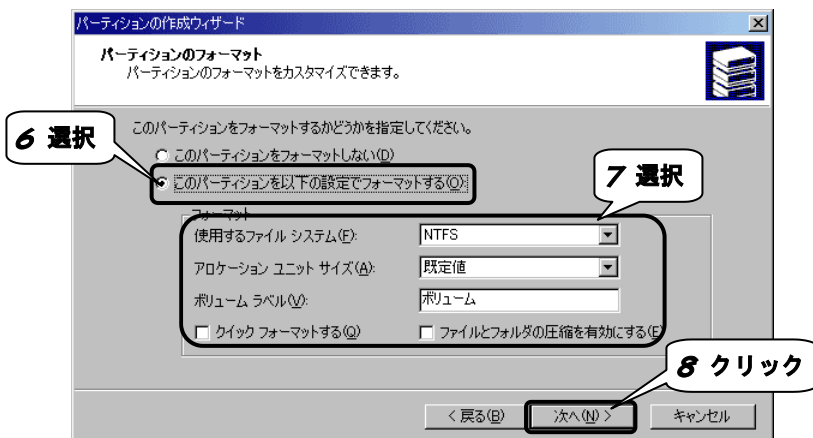
フォーマットの中の「使用するファイルシステム」項目を設定します。
項目の詳細については、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。



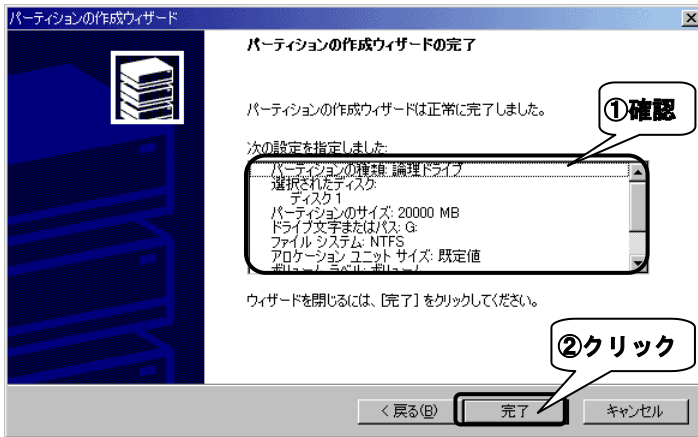
ファイルシステムについて

ファイルシステムがよく分からない場合は、[NTFS] に設定してください。
また、設定するファイルシステムの制限にご注意ください。
詳しくは、【本製品を複数のOSで使う場合】(73ページ)をご覧ください。

8 「次へ」ボタンをクリックします。



9 設定内容を確認して「完了」ボタンをクリックします。

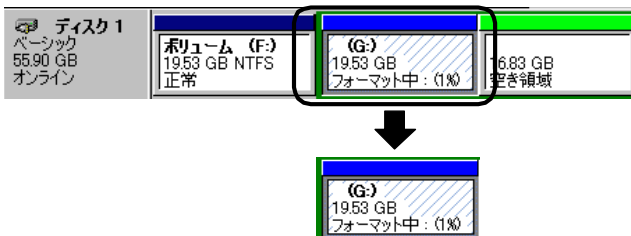


10 フォーマットするように指定します。

論理ドライブのフォーマットを開始します。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。

フォーマットが終わると、「マイコンピュータ」に本製品のアイコンが表示されます。



「空き領域」があまっている場合は・・・

本作業手順をもう一度行ってください。

作成したドライブの次回からのフォーマットについて

本製品のアイコンを右クリックし、表示された「フォーマット」をクリックします。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

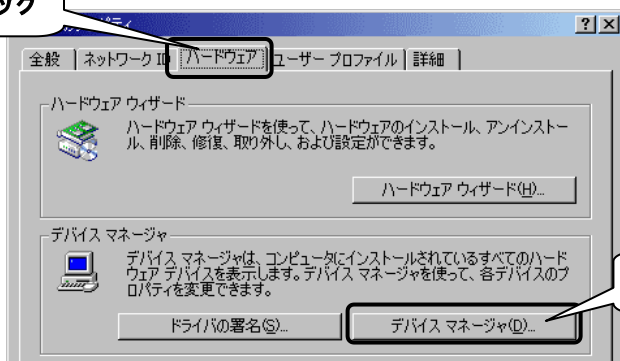
1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 [ハードウェア] タブをクリックします。

3 [デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。

2 クリック

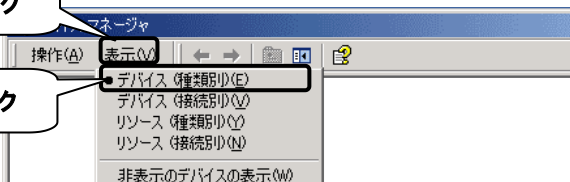


3 クリック

4 [表示] → [デバイス(種類別)] を選択します。

①クリック

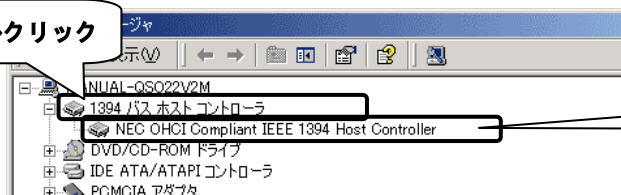
②クリック



5 IEEE 1394コントローラの名前を確認します。

- ① [1394 バス ホスト コントローラ] をダブルクリックします。
- ② その下にあるIEEE 1394コントローラの名前を確認します。

①ダブルクリック



②確認



IEEE 1394コントローラの名前は...

通常、「～IEEE 1394～Controller」という名前になっています。

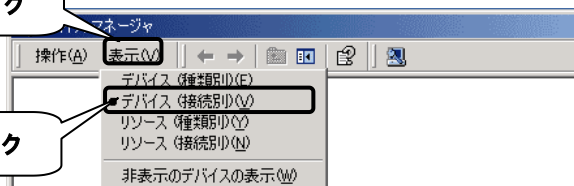


IEEE 1394コントローラに [!] が付いている

パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 [表示] → [デバイス(接続別)] を選択します。

①クリック



②クリック

7 IEEE 1394コントローラの名前を探します。

手順5で確認したIEEE 1394コントローラを探します。

➡ 画面例は次ページ



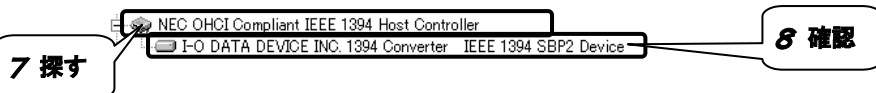
IEEE 1394コントローラ的位置は...

通常、IEEE 1394コントローラは [PCIバス] の下にあります。

[PCIバス] は、[ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) BIOS] または [標準PC] の下にあります。

8 IEEE 1394コントローラの下を確認します。

IEEE 1394コントローラの下にあるドライバを確認します。



[I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter....] に [!] が付いている

【接続する】(28ページ)をご覧ください、接続と電源を確認してください。

[I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter....] がない

【接続する】(28ページ)をご覧ください、接続と電源を確認してください。

9 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある  をクリックします。

10 本製品のアイコンを確認します。

- ① [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックします。
- ② [マイコンピュータ] の中にハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。
⇒これが本製品のアイコンです。



確認



ハードディスクのアイコンがない

【接続する】(28ページ)をご覧ください、接続と電源を確認してください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
本製品を取り外す	本ページ

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

本製品を取り外す

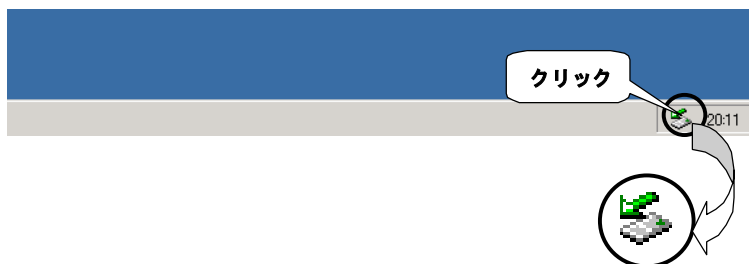
操作	
●/パソコンの電源を切って取り外す	本ページ
●/パソコンの電源を切らずに取り外す	次ページ

●パソコンの電源を切って取り外す

- 1 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
- 2 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。
- 3 本製品の電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



2 表示された [I-O DATA] をクリックします。



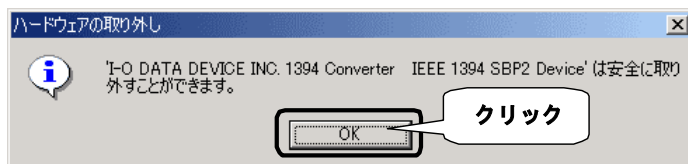
「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

①使用中のソフトウェアを全て終了します。

②本手順を行います。

※同じメッセージが表示される場合は、上の【電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

3 [OK] ボタンをクリックします。



4 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

5 本製品の電源を切ります。

Windows Me/98でお使いの場合

使えるようにしましょう

..... 52

本製品を使えるようにします。



フォーマットしよう

..... 54

本製品をフォーマットします。



確認しよう

..... 60

本製品が使えるようになったか確認します。



基本操作について

..... 63

本製品を使う上での操作について説明します。

Windows 98 SEをアップデートしよう

本製品を使うために、Windows 98 SEをアップデートします。



この作業を行うと元に戻せません

あらかじめご了承ください。



Windows Meをお使いの方へ

本作業は必要ありません。

【使えるようにしよう】(52ページ)へお進みください。

PCカードなどをお使いの方へ

本作業を行うと、PCカードなどの取り外しの際もアイコンや表記が変わります。

1 「HDA/1394シリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDA/1394シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

2 アップデートします。

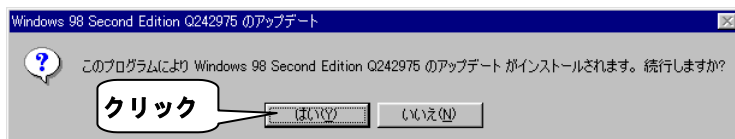
[マイコンピュータ] → [HDA_1394_xxx] → [1394CC] → [WIN98] → [242975JPN8] の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。

順にダブルクリック

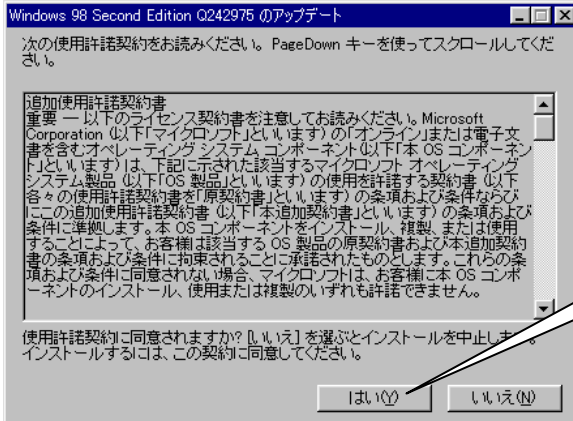


3 〔はい〕 ボタンをクリックします。



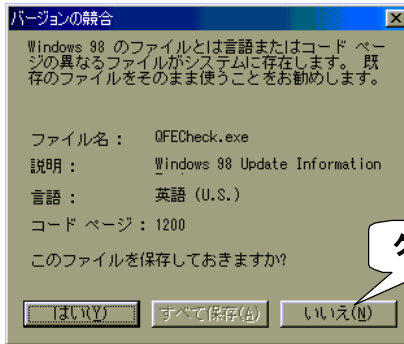
4 内容に同意するなら、[はい] ボタンをクリックします。

使用許諾契約書の内容に同意する場合のみ、[はい] ボタンをクリックします。



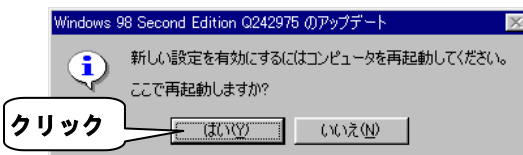
5 この画面が表示される場合があります。

その場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。



6 [はい] ボタンをクリックし、再起動します。

⇒これでWindows 98 SEのアップデートは終了です。



使えるようにしよう

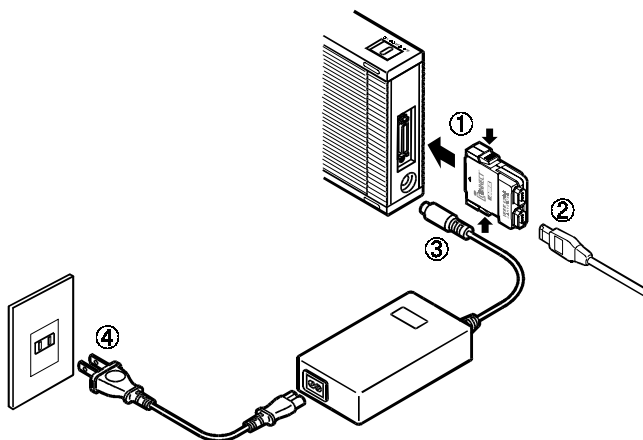
はじめて本製品をIEEE 1394ポートに接続する際の手順について説明します。

接続する

IEEE 1394ポートへの接続について説明します。

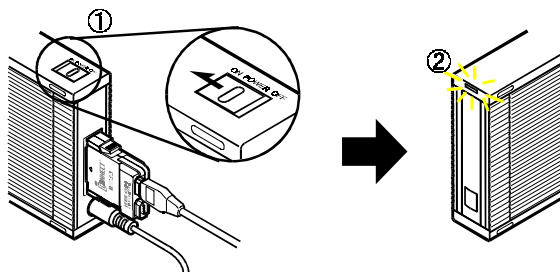
1 ハードディスクに接続します。

- ① IEEE 1394コンバータの両脇を押さえながら、ハードディスクにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
- ② IEEE 1394コンバータに、IEEE 1394ケーブルを接続します。
- ③ ハードディスクに、添付のACアダプタを接続します。
- ④ ACアダプタを電源コンセントに接続します。



2 本製品の電源を入れます。

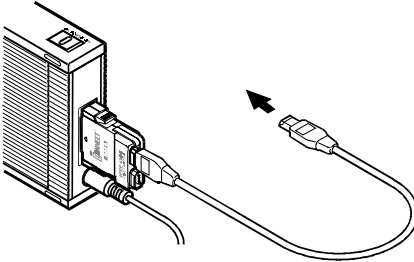
電源スイッチ (7ページ) を「ON」にします。
⇒電源ランプ (7ページ) が緑色に点灯します。



3 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。

IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



WindowsのCD-ROMを要求されることがあります

- ①CD-ROMドライブにWindowsのCD-ROMを入れます。
- ②CD-ROMドライブのランプが点灯して消えるまで待ちます。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。

【バージョンの競合】画面が表示される場合があります

すべて [はい] ボタンをクリックします。

[いいえ] ボタンをクリックしてしまった場合は、【Windows 98 SEをアップデートしよう】(50ページ)からやりなおしてください。

以上で、本製品は使えるようになりました。

次は、ハードディスクをフォーマットしましょう。

フォーマットしよう

本製品のフォーマットについて説明します。



フォーマットすると、データはすべて消去されます

本製品内に必要なデータがある場合は、先に、別のハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

下で説明するASPIFORMを使ってください

「マイコンピュータ」内のアイコンを右クリックして行うフォーマットおよびFDISK、FORMATコマンドでは、正常にフォーマットできません。



本製品は、最初に1度フォーマットが必要です

本製品は、フォーマットしないと使えません。

ASPIFORMでフォーマットしよう



パーティションコンバートツールを使わないでください

ASPIFORMで作成したFAT16のパーティションをFAT16→FAT32コンバートツール (Windows Me/98のFAT32コンバータなど) を使ってFAT32に変更しないでください。

FAT32のパーティションをお使いになりたい場合は、ASPIFORMを使用して、FAT16のパーティションを削除し、FAT32でパーティションを作成しなおしてください。

(ただし、削除したパーティションのデータはすべて失われます。

削除する前に必要なデータをバックアップすることをおすすめします。)

本製品以外の外付ハードディスクを、できるだけ取り外してください

誤ってフォーマットしてしまわないために、できるだけ取り外してください。



ASPIFORMとは？Windows Me/98専用です

ASPIFORMはWindows Me/98用フォーマットソフトです。

本製品をフォーマットすることができます。

パーティションは、最大5つまで作成できます

ASPIFORMで作成可能なパーティション数 (区画領域数) は、最大5つです。

マウスでの操作はできません

矢印キー ([↑][↓][←][→]) にて選択 (カーソル移動) してください。

1 「HDA/1394シリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDA/1394シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

2 [ASPIFORM] アイコンをダブルクリックします。

[マイコンピュータ] → [HDA_1394_xxx] → [HDD] → [ASPIFORM] の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。

順にダブルクリック



3 本製品を選択し、キーを押します。



「対象ドライブが見つかりません」と表示された

【ASPIFORMで「対象ドライブが見つかりません」と表示される】(72ページ)をご覧ください。



本製品がどれか分からない場合は・・・

本製品は、[RBCディスク]と表示されます。

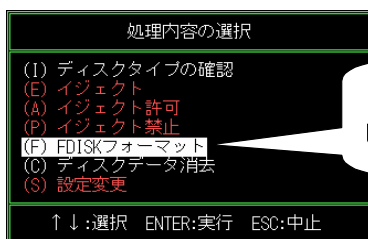
他の外付ハードディスクも表示されます

それらを誤ってフォーマットしないようにご注意ください。

内蔵CD-ROMドライブなどが表示されることがあります

ただし、それを選択することはできません。

4 「(F) FDISKフォーマット」を選択し、**[Enter]**キーを押します。



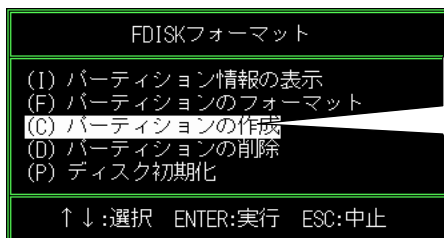
カーソルを移動
して、**[Enter]**キーを押す



各項目の詳細について

詳しくは、【ASPIFORMの処理内容について】(59ページ)を参照してください。

5 「(C) パーティションの作成」を選択し、**[Enter]**キーを押します。



カーソルを移動
して、**[Enter]**キーを押す



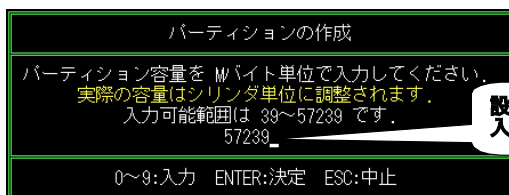
「使用領域が不足しています」と表示された

【ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される】(72ページ)をご覧ください。

6 パーティションの容量を入力し、**[Enter]**キーを押します。

最初、設定できる最大容量が表示されます。最大容量のまま設定する場合は、そのまま**[Enter]**キーを押します。

設定したい容量を入力する場合は、[BackSpace] キーで表示されている容量を削除した後、設定したい容量を入力してください。



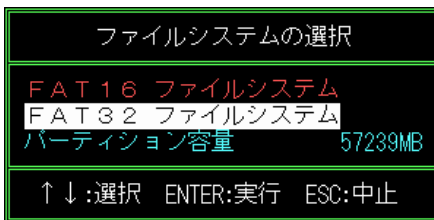
設定する容量を
入力し、**[Enter]**キー

7 容量を確認し、「実行」を選択して、キーを押します。



8 ファイルシステムを選択します。

⇒フォーマットが開始されます。

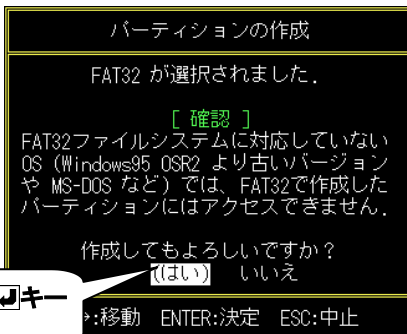


ファイルシステムについて

手順6で指定した容量によっては、片方のみ選択可能となる場合があります。本製品を他のOSと併用したい場合に[FAT32ファイルシステム]を選択すると、OSによっては、併用できなくなります。詳しくは、【本製品を複数のOSで使う場合】(73ページ)を参照してください。

9 「FAT32 ファイルシステム」の場合、以下が表示されます。

画面上のメッセージを確認し、作成しても良いなら「はい」を選択し、キーを押します。



10 下のように表示されたら、キーを押します。

フォーマットが完了しました。ENTERキーを押して下さい。

11 ハードディスクの容量が残っている場合は、繰り返します。

ハードディスクの容量が残っている場合は、さらにパーティションを作成できます。手順 **5**からの作業を繰り返し行い、残りの容量を確保してください。

12 [ESC] キーを「4回」押し、ASPIFORMを終了します。

13 ウィンドウが消えない場合は、 ボタンをクリックします。

14 「HDA/1394シリーズサポートソフト」を取り出します。

15 パソコンを再起動してください。

以上でフォーマットは終了です。

⇒「マイコンピュータ」に本製品のアイコンが表示されます。



作成したドライブの次回からのフォーマットについて

本製品のアイコンを右クリックし、表示された「フォーマット」をクリックします。

ASPIFORMの処理内容について

I ディスクタイプの確認

対象のディスクが、どのフォーマット形式に従ってフォーマットされているかを判別します。

E イジェクト

本製品では使用できません。

A イジェクト許可

本製品では使用できません。

P イジェクト禁止

本製品では使用できません。

F FDISKフォーマット

パーティション状態の表示

パーティションの状態を表示します。

パーティションのフォーマット

パーティションを選択後、論理フォーマットします。「パーティションの作成」後には必要ありません。

パーティションの作成

パーティションを作成し、論理フォーマットする。（必ずこの作業をしてください）

パーティションの削除

末尾のパーティションを削除します。

ディスク初期化

本製品では使用しないでください。
「ディスクデータ消去」の「完全データ消去」で初期化の代わりになります。
詳しくは、下をご覧ください。

C ディスクデータ消去

簡易データ消去

データ管理情報部分のみを消去します。

完全データ消去

ディスク上のすべての情報を消去します。
この作業には大変時間がかかります。
(80G/バイトで約1時間30分)

S 設定変更

ライトキャッシュの設定をします。
初期設定は「OFF」です。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

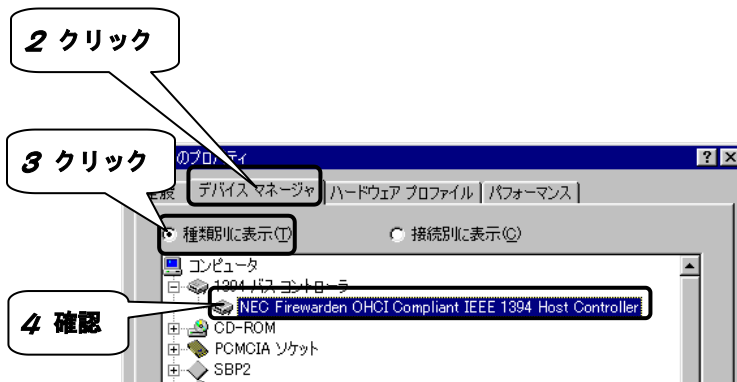
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

3 「種類別に表示」を選択します。

4 IEEE 1394コントローラの名前を確認します。

［1394バスコントローラ］の下にあるIEEE 1394コントローラの名前を確認します。



参考

IEEE 1394コントローラの名前は...

通常、「～IEEE 1394～Controller」という名前になっています。



注意

IEEE 1394コントローラに【!】が付いている

パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧ください、正常に動作するようにしてください。

5 「接続別に表示」を選択します。

6 IEEE 1394コントローラの名前を探します。

手順4で確認したIEEE 1394コントローラを探します。



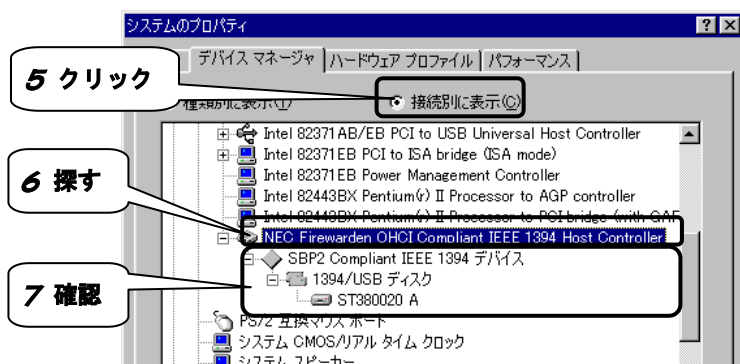
IEEE 1394コントローラの位置は...

通常、IEEE 1394コントローラは [PCIバス] の下にあります。

[PCIバス] は、[Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS] または [プラグアンドプレイBIOS] の下にあります。

7 IEEE 1394コントローラの下を確認します。

IEEE 1394コントローラの下にあるドライバを確認します。



[SBP2 Compliant IEEE 1394デバイス] に [!] が付いている

パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧ください、正常に動作するようにしてください。

[1394/USBディスク] に [!] が付いている

【接続する】(52ページ)をご覧ください、接続と電源を確認してください。

[1394/USBディスク] の下に何も無い

【接続する】(52ページ)をご覧ください、接続と電源を確認してください。

8 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある をクリックします。

9 本製品のアイコンを確認します。

- ① [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックします。
- ② [マイコンピュータ] の中にハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。
⇒これが本製品のアイコンです。



確認



ハードディスクのアイコンが増えていない

【本製品をIEEE 1394ポートに接続しても認識しない】(67ページ)をご覧ください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
本製品を取り外す	本ページ

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

本製品を取り外す

操作	
●/パソコンの電源を切って取り外す	本ページ
●/パソコンの電源を切らずに取り外す	次ページ

●パソコンの電源を切って取り外す

- 1 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
- 2 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。
- 3 本製品の電源を切ります。

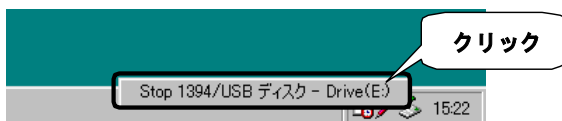
●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



2 表示された [Stop 1394/USBディスク] をクリックします。

複数のIEEE 1394コンバータを接続している場合は、[Stop 1394/USB ディスク] の後に表示されるドライブ文字にて区別します。



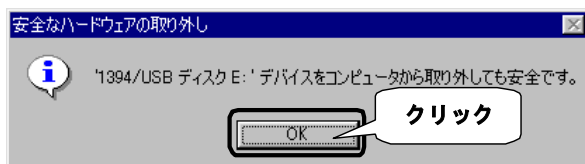
「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

①使用中のソフトウェアを全て終了します。

②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【●パソコンの電源を切って取り外す】
(63ページ)の手順を行ってください。

3 [OK] ボタンをクリックします。



4 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

5 本製品の電源を切ります。

付録

困った時には

..... 66

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

本製品を複数のOSで使う場合

..... 73

本製品を複数のOSで併用する方法について説明します。

サポートソフトの削除

..... 75

サポートソフトの削除方法について説明します。

IEEE 1394について

..... 77

IEEE 1394について説明します。

用語解説

..... 81

本書内の用語を説明します。

ハードウェア仕様

..... 82

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

本製品をIEEE 1394ポートに接続しても認識しない	67
本製品からOSを起動できない	
スタンバイから戻ると、本製品が認識されていない	

Windows 2000でのトラブル

フォーマットするとエラー画面が表示される	70
IEEE 1394ポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	

Windows Me/98でのトラブル

・ 本製品を接続すると、パソコンが止まる ・ 本製品を接続してパソコンを起動するとSafeモードになる	71
IEEE 1394ポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	
PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない	
ASPIFORMで「対象ドライブが見つかりません」と表示される	72
ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される	

共通のトラブル

本製品をIEEE 1394ポートに接続しても認識しない

原因1 「更新」されていない(Windowsのみ)

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因2 接続するIEEE 1394ポートによっては認識されない

接続するIEEE 1394ポートを変えてください。

原因3 本製品の接続や電源が正常ではない

【接続する】(19, 28, 52ページ)をご覧ください、接続と電源を確認してください。

原因4 正常に認識されていない

【確認しよう】(22, 44, 60ページ)をご覧ください、正常認識されているか確認してください。

原因5 機能拡張が競合している(Mac OS 8/9のみ)

【機能拡張の競合解消方法】(68ページ)をご覧ください。

本製品からOSを起動できない

原因 本製品からのOSの起動には対応していない

本製品からOSを起動することはできません。

スタンバイから戻ると、本製品が認識されていない

原因 スタンバイから復帰する際に認識されなくなることがある

本製品を一度取り外し、また接続してください。

機能拡張の競合解消方法

これはMac OS 9.1での手順です。

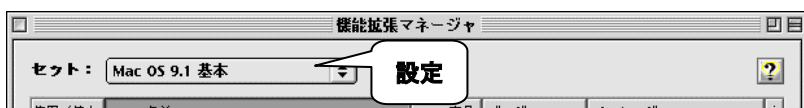
他のMac OSでは手順や表示が多少異なる場合があります。

1 「機能拡張マネージャ」を開きます。

[アップルメニュー] → [コントロールパネル] → [機能拡張マネージャ] をクリックします。

2 [セット] を [Mac OS xx 基本] に設定します。

※ xxにはMac OSのバージョンが入ります。



3 [セットの複製] ボタンをクリックします。

⇒ [セット] が [Mac OS xx 基本のコピー] になります。

4 [B'sCrew FW Driver] に [×] を付けます。

5 [再起動] ボタンをクリックします。

⇒Mac OSが再起動します。



6 本製品の動作を確認します。

本製品のアイコンが画面に表示されることを確認します。

また、他の周辺機器やソフトウェアが動作することをご確認ください。

動作しない場合は、それぞれ再インストールしてください。

Windows 2000でのトラブル

フォーマットするとエラー画面が表示される

原因 フォーマットが完了する前に終了している

「ディスクの管理」でパーティションの作成とフォーマットをした場合、以下のメッセージが表示され、フォーマットが完了せずに「パーティションの作成ウィザード」が完了する場合があります。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。
要求を完了できません。」

この画面が表示された状態では、フォーマットはされていませんが、パーティションの作成は終わっています。

この画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。「ディスクの管理」から、作成されたパーティションを右クリックし、表示された[フォーマット]をクリックすることにより、作業が完了します。

IEEE 1394ポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 取り外しの正しい手順を行っていない

【●パソコンの電源を切らずに取り外す】(48ページ)をご覧ください。

Windows Me/98でのトラブル

- ・ 本製品を接続すると、パソコンが止まる
- ・ 本製品を接続してパソコンを起動するとSafeモードになる

原因 本製品の接続や電源が正常ではない

【接続する】(52ページ)をご覧ください、接続と電源を確認してください。

IEEE 1394ポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 取り外しの正しい手順を行っていない

【●パソコンの電源を切らずに取り外す】(64ページ)をご覧ください。

PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない

原因 【デバイスマネージャ】タブが表示されない設定になっている

1 「Cyber Trio-NXセットアップ」を起動します。

[スタート] → [プログラム] → [Cyber Trio-NX] ([NXユーティリティ]、[NXの設定]) → [Cyber Trio-NXセットアップ] を起動します。

2 「アドバンスドモード」にします。

「アドバンスドモード」にチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

3 Windowsを再起動します。

自動で再起動されます。

ASPIFORMで「対象ドライブが見つかりません」と表示される

原因 本製品の接続や電源が正常ではない

1 ASPIFORMを終了します。

〔ESC〕キーを数回押し、ASPIFORMを終了します。

ウィンドウが残る場合は、 ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

2 接続と電源を確認します。

【接続する】(52ページ)をご覧ください、接続と電源を確認します。

ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される

原因 すでにパーティションは作成されている

フォーマットの必要はありません。そのままお使いください。
パーティションを作り直したい場合は、本製品内の必要なデータをバックアップした後で、【ASPIFORMの処理内容について】(59ページ)をご覧ください、「簡易データ消去」を行い、
【ASPIFORMでフォーマットしよう】(54ページ)の手順を最初から行ってください。

本製品を複数のOSで使う場合

本製品を複数のOSで併用する方法について説明します。

ハードディスクを複数のOSで併用して使う場合は、併用するOSのすべてで認識できるファイルシステムにてパーティションを作成しなくてはなりません。

ここでは、各OSがどのファイルシステムに対応しているかについて説明します。

OS毎の使用できるファイルシステム

OSによって、使用できる（作成できる）ファイルシステムが異なります。

複数のOSでハードディスクを併用する際のパーティションの作成時には、下の表を参照して併用できるファイルシステムを確認してください。

例えば、Windows MeとWindows 2000では、「FAT32」「FAT16 (FAT)」のファイルシステムでハードディスクにパーティションを作成（フォーマット）すれば併用できます。（「NTFS」でパーティションを作成すると併用できなくなります。）

使用OS (バージョン)	ファイルシステム		
	NTFS	FAT32	FAT16 (FAT)
Windows Me	×	○	○
Windows 98	×	○	○
Windows 2000	○	○※1	○※2

○：使用可 ×：使用不可

※1 作成できる容量と認識できる容量が異なることにご注意ください。

※2 他のOSと併用する場合には、1パーティションのサイズを「2047Mバイト」以下に設定する必要があります。

ファイルシステムとその特徴

●Windows 2000

ファイルシステム	特徴
NTFS	1つのパーティションあたりの最大容量は、「約408,000,000Tバイト」です。 ただし、Windows Me/98 SEではアクセスできません。
FAT32	1つのパーティションあたりの作成できる最大容量は、「約32Gバイト」です。 ただし、Windows Me/98 SEでフォーマットされたFAT32のパーティションを「約2Tバイト」まで認識できます。
FAT(16)	1つのパーティションあたりの最大容量は、「約4Gバイト」です。 ただし、Windows 98 SEなどで使用する場合は、「2,047Mバイト」までにする必要があります。

●Windows Me/98 SE

ファイルシステム	特徴
FAT32	1つのパーティションあたりの最大容量は「約2Tバイト」です。
FAT16	1つのパーティションあたりの最大容量は、「2,047Mバイト」です。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

この手順は、Mac OS 8/9専用です。



Windows 2000, Windows Me/98をお使いの方へ

サポートソフトの削除は必要ありません。

本製品の認識に、サポートソフトを使っておりません。

1 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

【本製品を取り外す】(23ページ)を参照してください。

2 「起動ボリューム」を開きます。

「起動ボリューム」のアイコンをダブルクリックします。



ダブルクリック

3 [B'sCrew FW] フォルダを削除します。

「起動ボリューム」の中にある[B'sCrew FW]フォルダを削除します。



B'sCrew FW

削除



削除の仕方

削除したいアイコンをクリックしたまま、ゴミ箱に移動します。

ゴミ箱の上に来たら、マウスのボタンを離します。

4 「機能拡張」を開きます。

〔システムフォルダ〕→〔機能拡張〕の順にダブルクリックします。

順にダブルクリック



システムフォルダ



機能拡張

5 [B'sCrew FW Driver] を削除します。



6 「アップルメニュー」を開きます。

〔システムフォルダ〕 中にある〔アップルメニュー〕 アイコンをダブルクリックします。



7 [B'sCrew FW] のエイリアスを削除します。



8 パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。

これでサポートソフトの削除は完了です。

IEEE 1394について

IEEE 1394について説明します。

IEEE 1394(アイトリプルイー イチサンキューヨン)とは？

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple Computer, Inc. で開発が始まり、IEEE (米国電気電子技術者協会) により正式規格として制定された規格。

その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。

FireWireやi.LINKなどもその一種。

ソニー株式会社がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

FireWire(ファイヤーワイヤー)とは？

IEEE 1394のベースになった規格。

Apple Computer, Inc. とTexas Instruments社で提唱された。

i.LINK(アイリンク)とは？

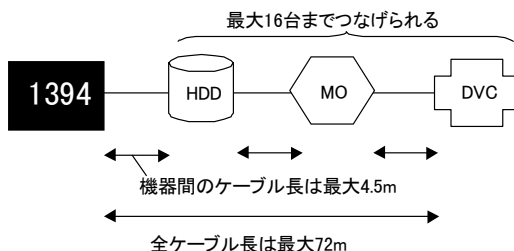
IEEE 1394を本格的に普及させるために、ソニー株式会社が提唱する呼称。

IEEE 1394機器の接続方法

●正しい接続方法

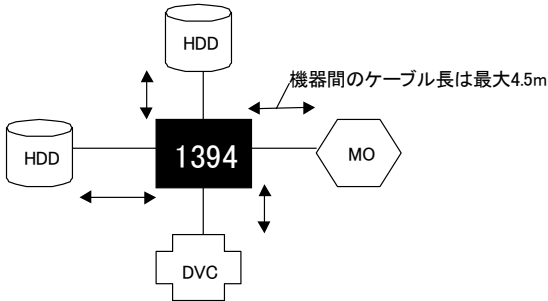
・デジチェーン

機器同士を、じゅず状につなげる方法。



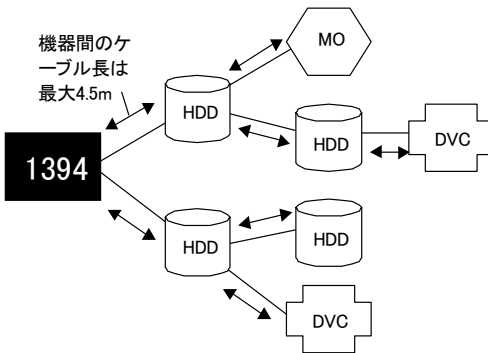
・スター

IEEE 1394インターフェイスを中心にスター(星)状につなげる方法。



・ツリー

各機器から枝別れさせてつなげる方法。



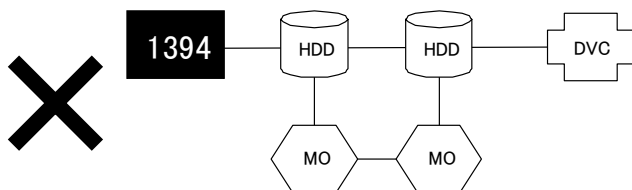
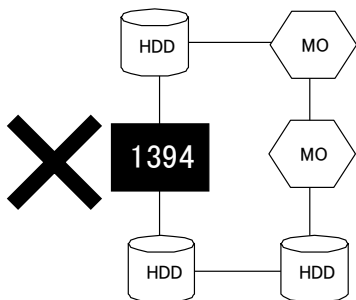
記号の説明

-  IEEE 1394ポート搭載パソコン
-  ハードディスク
-  MOドライブ
-  DVC (デジタルビデオカメラ)

●誤った接続方法

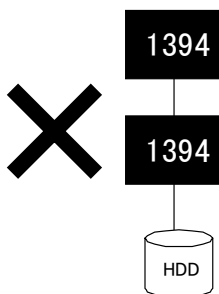
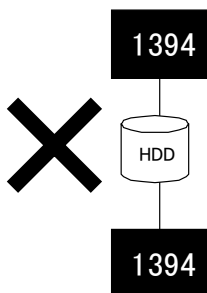
・ ループ接続

IEEE 1394インターフェイスおよび機器間をループ状につなげる方法。



・ 共有接続

複数のパソコンで機器を共有するようにつなげる方法。



IEEE 1394機器の接続可能台数

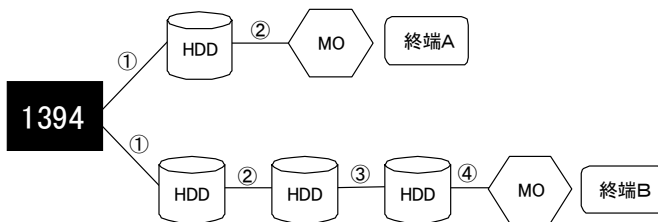
IEEE 1394ポートには最大63台のIEEE 1394機器を接続できます。

ただし、Windows側の制限などによって全ての機器を遣うことはできません。

IEEE 1394ケーブルの最大本数

IEEE 1394インターフェイスと終端のIEEE 1394機器の間に最大16本のケーブルを使うことができます。

下の図では、終端Aまでは2本、終端Bまでは4本のケーブルを使っています。



複数のIEEE 1394機器の取り外し

複数のIEEE 1394機器を連続して接続している場合は、終端より順に取り外してください。

用語解説

i・CONNECT [アイコネクト]

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格。

i・CONNECT搭載ドライブは、i・CONNECT対応オプションと接続することにより「USB」接続、「IEEE 1394 (FireWire, i.LINK)」接続または「PCカード」接続ドライブとして使用できる。

※本製品は、「HDA-iシリーズ(i・CONNECT搭載ハードディスク)」と、「IEEE 1394 コンバータ&ケーブル」のセット品です。

HDA-iシリーズは、i・CONNECT対応オプション（USB2-iCNなど）と接続して、他のインターフェイスに対応したドライブとしてもお使いいただけます。

フォーマット

ハードディスクを使えるようにするために必要な作業。

他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

ハードウェア仕様

HDAシリーズ

ハードウェア仕様については、別紙をご覧ください。

IEEE 1394コンバータ

対応規格	i・CONNECTおよびIEEE 1394 (FireWire, i.LINK)※1
転送速度	400Mbps
動作温度	+5℃～35℃
動作湿度	20～80%（結露なきこと）
外形寸法	44 (W) × 52.5 (L) × 17.1 (H) mm
質量	約40g

※1 物理層は、P1394-2000に準拠。

IEEE 1394ケーブル

名称	IEEE 1394ケーブル (6-6ピン)	IEEE 1394ケーブル (6-4ピン)
インターフェイス仕様	IEEE 1394※2	
対応速度	400Mbps	
ケーブル長	約100cm	

※2 物理層は、P1394aに準拠。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット <http://www.iodata.co.jp/support/>

■郵便

住所 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「HDA/1394シリーズ」係 宛

■電話・FAX

電話番号	金沢 076-260-3688	東京 03-3254-1095
電話受け付け時間	9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)	
FAX番号	金沢 076-260-3360	東京 03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット <http://www.iodata.co.jp/> →「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サービス窓口
「HDA/1394シリーズ」 宛
電話番号 076-260-3663
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

- オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、

- ①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
- ②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

- ・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
- ・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

- ・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
- ・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
- ・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

- ・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

- ・下の内容を書いたもの

返送先〔住所/氏名/(あれば)FAX番号〕, 日中にご連絡できるお電話番号,

ご使用環境（機器構成、OSなど）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

- ・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
- ・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

- ・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

- ・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
 アイ・オー・データ第2ビル
 株式会社アイ・オー・データ機器 修理係 宛

修理品の返送

- ・修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

- ・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号 076-260-3663
受付時間 9:30~12:00 13:00~17:00
 月～金曜日（祝祭日を除く）

HDA/1394シリーズ 取扱説明書

2001. Aug. 09 94163-01

発 行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.

本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。